

## 「生物多様性国家戦略」見直しの論点について

1. 生物多様性の現状認識
  - 1) 生物の生息・生育状況
  - 2) 環境タイプ別、地域別にみた特記すべき問題
  - 3) 社会経済的要因及び国民意識の変化
  
2. 生物多様性の理念
  - 1) 「生物多様性の価値」・「共生」の捉え方
  - 2) 「自然の再生・修復・創出」の考え方
  - 3) 目標設定の考え方
  
3. 国土のマクロな捉え方と生物多様性
  - 1) 生物多様性を成立させる国土の骨格的な要素
  - 2) 要素毎の特性に応じた取扱方向
  
4. 保全のための仕組み
  - 1) 動物（生態系）と国立公園
  - 2) 里地里山等の中間地域の扱い
  - 3) 陸域の湿地や干潟等浅海域の保全
  - 4) 移入種等、野生生物の保護管理
  - 5) 効果的な保全手法（ゾーニングとその他調整手法）
  
5. 自然環境データの整備
  - 1) 自然環境保全基礎調査等、生物多様性の実態把握
  
6. その他
  - 1) 情報公開と参加
  - 2) 多様な主体間の連携と役割分担
  - 3) 国際協力